

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部长 関 一誠



第60回早慶バドミントン定期戦おめでとうございます。さらに、慶応バドミントン部創部70周年おめでとうございます。おかげさまで、早稲田大学バドミントン部も創部60周年を迎えることができました。ひとえに、早慶定期戦がどのような状況下に置かれても途切れることなく継続して行われていたからこそ今日に到れたものと関係諸氏に感謝する次第です。

本年は早慶両校にとって大きな節目の年ではありますが、オリンピックイヤーでもありました。女子ダブルスで、銀メダルを獲得したことにやり、バドミントン競技がより広く社会に認知された年でもあります。かつて日本はユーバー・カップ、全英選手権等で数々の優勝を果たし、そこには、早慶諸兄の現役・OBの貢献が多大にありました。近年は中国、韓国等の後塵を拝しているようですが、そんな中、今回のオリンピックでバドミントンが好成績を獲得したことはわれわれバドミントンに関心のあるものにとって大変喜ばしいことであり、快挙であります。

この機に乗じ、この早慶戦でも世界に向け攻勢をかけ、日本のバドミントン界に貢献したいものです。

今年の夏も異常なくらいの猛暑でした。両校とも夏季の合宿等ではコンディショニングに大変苦勞されたと思います。それでも、早慶戦に向けて充実した練習をこなし本日に備えてきたことと存じます。

どちらにしても、年に一度の早慶戦、両校の精一杯のがんばりを期待しています。

会長挨拶

稲門バドミントンクラブ会長 福井正康



60回目の早慶戦が行われる。早稲田は創部60周年、慶應は70周年の筈です。10年の先達であり色々な先輩が居られる。私が親しくさせていたいたのは故森友徳兵衛さんと小宮淳宏さんの御二人である。森友さんとは第6回トマス杯の打合せで小川町の自宅にも伺い自慢の帆船の模型を拜見したことがある。又小宮さんとはユーバー杯の監督・コーチという関係で伊勢崎町の花見煎餅本店へ足繁く通い本当にお世話になった。御二人共まさに慶應という様な方である。

さて早慶戦は最近早稲田が優勢だが敢えて申し上げれば慶應の選手は決して臆することはない。何故ならばこの斗いは今後何十年と続くわけだから現在だけを観ないでほしい。きつとまた慶應が盛り返す時が必ず来る筈である。

ところで最近、晩酌に第22回早慶戦の記念品であるワイングラスを愛用している。持ち易くすこぶるのみ易い。そして手に持って眺めているのは慶應大学30周年記念のレリーフである。人形の形で2本のペンを抱えている。確か慶應バドミントン部の女子の方が創作したと聞かされた記憶がある。慶應の守護神ではないかと考えている。

最後に早慶両校の選手諸君にエールを送り、ご挨拶いたします。
フレー・フレー慶應・フレーフレー早稲田!!

部長挨拶

慶應義塾体育会バドミントン部部长 田村俊作



第60回の記念すべき早慶戦を日吉記念館で開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。
昭和28（1953）年にはじまった早慶定期戦が、途中一回の中断も見ることなく、人間で言えば還暦にあたる歳月を積み重ねてきたのは誠にご同慶の至りであり、また、これまでご指導・ご支援を賜わり、守り育ててきてくださいます両校の諸先輩をはじめ、監督、コーチ等々のスタッフ各位、運営にあたってこられた皆様方に、心より御礼申し上げます。

本年は慶應義塾体育会バドミントン部の創部70年の年でもありません。三田バドミントンクラブにより、6月に記念式典が日吉キャンパスで開催され、同時に創部70周年記念部誌が作成・刊行されています。

部誌は今回をはじめこれまでに何回か作成されましたが、いずれの部誌においても、早慶戦は、活動の記録や個人の体験談で大きく取り上げられています。過去においても現在においても、早慶戦は部員にとって、リーグ戦と並ぶ大きな目標の一つとなっているのです。今年もまた、早慶戦をめざして、部員達は例年のような酷暑の中を、日吉記念館で練習に励んできました。近年我が校は劣勢に立たされていますが、部員諸君は、臆することなくその成果を精一杯発揮してもらいたいと思います。

しかしまた、早慶戦には単なる勝敗を超えた独特の雰囲気があることも確かでしょう。終わった後の一杯も格別ですが、早慶戦はOB・部員が互いに友情を新たにし、親交を深める絶好の機会となっています。勝敗はさておき、部員諸君、OBの皆様には、バドミントンの楽しさを味わいながら、早慶戦ならではの良き伝統をさらに継承・発展させてくださることを願っております。

会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長 小杉良雄



早慶バドミントン定期戦もついに節目となる60回を迎えました。人の年齢で言えば還暦（教え年の61歳で再び生まれた年の干支に還る）となり、改めて伝統の積み重ねと云うか深みに感じ入ります。私か現役4年生の時（1960年秋）第8回定期戦に出場してからも実に52年が経ち、お爺さんになりました。

この間早慶両校バドミントン部にもかなりの浮き沈みがあり又残念ながら鬼籍に入られた方も少なからず居られます。

昔の話になって恐縮ですが当初は慶応か男女共強く（全盛時でした）、途中からは早稲田さんのレベルが上がりここ長く圧倒的な強さです（慶応が弱くなった？）。

今年もそんな中での早慶戦となりますが、先ずは早慶らしい熱戦を一つでも多く、その上たまにはOB戦でも勝ってもらい、現役戦では男子3勝、女子2勝は上げてもらいたいと思っています。美味しいお酒が飲みたいですからね。

さて今年はオリソピツクの年でもありました。日本選手も頑張り過去最高の38個のメダルを取り、特にマイナーといわれるような競技での活躍は見事でした。バドミントンでも女子ダブルス藤・垣ペアーの銀は初めてのこと嬉しかったですね。また男子佐々木翔君のスワッシュと女子佐藤冴香さんのアクシデントは強い印象に残りました。何時の日か早慶からもオリソピツク代表選手が出て大活躍して欲しいものです。

最後に、年一度の早慶現役・OB交流の場、プレーされる方も、観戦・応援される方も大きい声を出し合っって一日を楽しんで頂けたらと念じています。祈成功、継伝統！

今年も早慶両校の現役、OBが一堂に会して競い合う早慶戦がやってきました。この伝統ある定期戦も今年で第60回を迎えることになりました。これもひとえに諸先輩方の努力と熱意の賜物と感謝申し上げます。

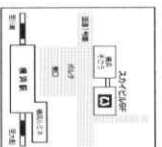
今年も監督として戦えることに感謝するとともに大変光栄であり嬉しく思います。今年に入り、男子が関東学生春季リーグ戦において優勝、関東学生選手権では男子シングルス丸尾が優勝、ダブルスで古賀・齋藤組が準優勝と大健闘の結果を残してくれました。女子においても春季リーグ戦は4位に甘んじてしまいましたでしたが関東学生選手権において女子主将の玉木が優勝するなど、チーム全体がレベルアップしている証拠と思っています。男女とも、今後より良い結果を残せるよう努力していきたいとお思います。期待してください。さて、今年の定期戦ですが、全員で一丸となり慶応に臨み、是非勝利をものにしたいと思います。しかし、いつも独特の雰囲気の中で行われる早慶戦は過去いくつもの名勝負が実力を超越したところで勝敗がついて来ました。選手諸君には今年も気合い負けせず、日頃の練習の成果を充分に発揮し早稲田らしく悔いのないプレイを見せてほしいと思います。特に4年生には学生最後の定期戦として、後輩達の見本となるよう全力をつくして必ず勝利してもらいたい。そして、良き思い出をつくってください。

最後に、今年も慶応の現役、OB諸氏と共に良い試合を展開し、より両校の友好が深まることを望みます。

WASEDA VS KEIO

オンラインサイトシヨップ

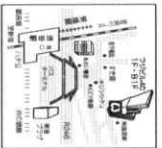
☎ <http://www.windsor racket.co.jp/badminton/>
📧 http://ennis-w.com/badminton/



横浜店
東口三ツ塚カナルビル



新宿店
西口青南街道 都立銀行前



渋谷店
渋谷駅南口 南園劇場1F



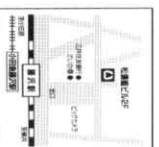
池袋店
東口洋子のカナルビル



町田店
西交町田店構



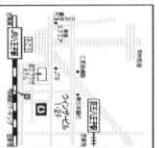
上野店
御徒町南口 コナチカビル2F



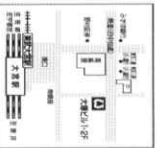
藤沢店
藤沢わかめ町駅前 藤沢ビル5F



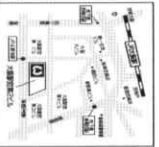
千葉店
千葉駅前カナルビル2階南口側



八王子店
八王子駅前カナルビル1F



大宮店
大宮駅東口 東武ビル5F



梅田店
JR大塚駅 大塚駅前ビル2F

【定休日】

年中無休

【営業時間】

10:00~20:00

- 【横浜店】 045-453-1785
- 【新宿店】 03-3343-5021
- 【渋谷店】 03-3464-9251
- 【池袋店】 03-3989-0401
- 【町田店】 042-727-0102
- 【上野店】 03-3893-2678
- 【藤沢店】 0466-22-5156
- 【千葉店】 043-227-8411
- 【八王子店】 042-666-3300
- 【大宮店】 048-642-8885
- 【梅田店】 06-6343-8971

この夏、スポーツと平和の祭典“第30回オリンピック競技大会”がロンドンで開催された。「康介さんを手ぶらで帰らせるわけには行かない」という意気込みで一致団結した競泳男子4x100メートルリレーチームが堂々の泳ぎで銀メダルに輝き、残り1秒からの大逆転劇を演じたフェンシング男子フルール団体メンバーも銀メダルを獲得するなど日本選手団も大いに活躍するとともに、今回もオリンピックならではの数々の感動的な場面や手に汗握る世界レベルの熱戦が繰り広げられた。バドミントン競技では藤井・垣岩組が持ち味の攻撃を武器に女子ダブルスで銀メダルを手にした。これは同種目における日本初のメダル獲得という快挙達成の瞬間でもあり、我々も同じバドミントン関係者として我がことのように喜ばしく、おかげで印象的なオリンピックとなった。

ところで、オリンピックとなると、どうしてもメダルの色や数が注目される。試合結果を数値化した「順位」は相対的な基準としてわかりやすいため、メダルの色や数が脚光を浴びるのも無理はない。しかし、結果としてのメダルの色や数だけが必要以上に強調されることには、競技関係者として座り心地の悪さを感じる。競技者にとって大切なことは「結果(目標)」と「そこに至る過程」の両者であり、その前提となる「競技者としての心構え」がより肝心である。競技者である以上は、1.最上位(金メダル)を目指すこと、2.目標に向かって努力を惜しまないこと、3.どんな局面においても最善を尽くすこと、の3つが重要であり、1つでも欠けることがあってはならない。その結果として、メダルがあったりなかったりするであろう。だからかどうかわからないが、私はメダリストたちのこんな言葉を聞くとはっとする。「メダルの色は目標としていた色と違ったけれど、私にとっては金メダルと同じだ」

慶應にとって「打倒早稲田」という目標は、オリンピックにおいて金メダル獲得を目指すことに等しい。慶應バドミントン部のメンバーは、1.早稲田に勝つことを目指し、2.目標に向かって努力を惜しまず、3.どんな局面においても最善を尽くして、今日の早慶戦を迎えた。緑色の妖精が麦茶から飛び立つ姿に気がつかないほど練習に集中してきた。今日は結果に拘り、その努力の成果を思う存分発揮してほしい。

KEIO VS WASEDA

特殊鋼他各種金属材料の切断加工販売いたします。

五味渕鋼鉄株式会社

代表取締役 **五味渕 努** (昭和63年慶應大学法学部卒)

本社 横浜市都筑区川向町922-26

TEL045(474)4560 FAX045(474)0003

E-mail: go3buchi@f3.dion.ne.jp

郡山支店 福島県郡山市喜久田町菖蒲池22-165

TEL0249(59)1511 FAX0249(59)1516

早稲田大学 人間科学部 平成12年卒
池亀志帆

第60回早慶バドミントン定期戦の開催、誠にありがとうございます。伝統あるこの定期戦が今年もまた無事に開催されることを嬉しく思うとともに、60回という歴史を重ねてきた重みを改めて感じます。

私が現役だったなかで最も記憶に残っているのは、3年生の時の早慶戦でしょうか。当時副務を務めていたこともあり、準備委員として直前まで準備にあたりていたため、当日はやや睡眠不足のまま迎えました。ところが、試合はダブルスが2敗し、負けられない状況で自身のシングルスを迎え、緊張とプレッシャーで試合をしたことをよく覚えています。他の試合とは違う、「伝統」の重みを深く感じた試合でした。

OBとなった現在は、早慶戦は早稲田の先輩方、慶応の先輩方との年に1回交流できる、楽しい場となりました。現役時代のプレッシャーはどこへやら、勝っても負けてもよい汗を存分にかくことができ、楽しく交流させていただけると感じる早慶戦。これはOBになったからこそ早慶戦の楽しみ方でしょう。

学生の皆さん、現役時代はこの伝統の重みを十分に感じ、両校の意地と名誉をかけた定期戦のプレッシャーを存分に感じてください。この重みを感じられるのは、4年間、わずかに4回の早慶戦のみです。そして、OBになった後にも、「あの時の早慶戦でね」と語れるような定期戦を経験してください。ひとつひとつの早慶戦が、また新しい伝統を積み上げてくれることと思います。

最後になりましたが、この早慶定期戦の開催に当たり、準備・運営等にご協力いただきました皆様にご挨拶を申し上げます。今年も両校の熱い試合が繰り広げられることを願っています。

WASEDA 早慶戦 寄らせて KEIO

早稲田大学 スポーツ科学部 平成24年卒
及川拓人

この度は第60回早慶バドミントン定期戦の開催、おめでとうございます。今年もまた、熱い思いを持った両校の選手の戦いが繰り広げられること、心より楽しみにしております。

昨年度の事を考えると、一言ではとても言い表せない、本当に様々な思いがよみがえります。4年生として出場する早慶戦には、本当に特別な思いを持っていました。1年生でまだ早慶戦の意義が全く分かっていなかっただ頃、当時主務を務めたチームを裏方から支えていた大芝先輩が必死で練習に励み、勝利し歓喜する姿を見て、いつかは私もあの舞台に立ちたい、と強く願っていました。当日の打ち上げでは、同じく1年生だった慶應の竹内君と、「4年の早慶戦で必ず戦おう」と誓いあったことを、今でも覚えています。4年の早慶戦で、勝利を収め歓喜の中で引退すること、それが私の大きな目標になっていました。

結果として、私はシングルで竹内君に敗れました。社会人として暮らす今でも、おとした瞬間に悔しい思いが甦ります。最後の試合で勝てなかったことは、おそらくいつまでも私の心の中に残り続けるはずです。しかし同時に湧きあがるのは、あの舞台で皆様の応援を一身に背負って戦うことができたことへの誇らしさです。私は4年間いつも、リーグ戦やインカレ等の試合で尊敬する先輩方やいつも一緒に過ごす後輩達、そして生涯の友である同期6名が、勝利を期待され、チームのために堂々と試合をする姿を見て、「いつかは自分も」という思いはありながらも、その夢を果たす機会が叶わずに訪れませんでした。

早慶戦はそんな私の願いが叶った、まさに夢の舞台でした。仲間達やお世話になったOB、共に切磋琢磨した慶應諸君が見守る中、長らく目標としてきた竹内君と最後の試合をすることができたこと、本当に幸せな瞬間でした。

両校諸君には、是非とも気持ちのこもった試合をしてほしいと、心より願います。言うまでもなく、打ち上げも同様です。

最後になりましたが、この定期戦を開催するにあたり多大なる苦勞をされた両校の準備委員をはじめ、大会関係者の皆様に、深く感謝を申し上げます。

慶應義塾大学 商学部 昭和40年卒
長谷川敏彦

～私と慶早戦～

60回目の慶早戦。両校関係者のご努力に心から感謝申し上げます。
次の70回目にはこのままいくと32連敗(15:0)に近い内容、通算14勝56敗と定期戦の意味を成さないこととなります。
これを断固阻止すべく、塾の総力をあげて再建に取り組む決意と実行が必要ですよ。

現在OB会を中心に中長期計画(5～10年)を立て、具体的に動き出し、心強く思うと共に、私も一地方OB(愛知県在住)としてできることをやっていきたい。(関東地OB諸兄の奮起を切望する)

さて、50年前の私の現役時代(東京オリンピック)の慶早戦の思い出は次の3つです。

1つは、大学1年の定期戦に当時4年生と組んだダゲルスで初出場、初勝利。(大変大きな自信になった)

2つは、大学2年の定期戦でシングルスの試合中、ネット前に落とされたシャトルをスライテイングキヤッチした時に勢い余って顔を床に強打。出血、負傷し救急車で搬送。その後、手術、入院。(張り切りボーイで気合が入っていた)3つは、大学4年のキヤラテノンで戦った第12回慶早戦での初の敗戦。責任を感じて初の丸刈りとなり、その悔しさをインカレにぶつけた。団体戦で準優勝、個人戦でシングルス3位、ダブルス準優勝と素晴らしい成果をあげることができた。

正に慶早戦での熱い戦いが私のバドミントンの原点であり、今でも私の大切な宝物でもあります。

- ・「大切なことは勝負ではない、なんておおかた敗者が言う言葉だ」 マルチナ・ナフラテロフ(テニス)
- ・「勝負に絶対はない。しかし最善の策を講じていけば反に負けても次の道筋が見える」 落合博満(野球)
- ・「何も感じなければ何も残らない」 川淵三郎(サッカー)

KEIO 慶早戦 寄せて WASEDA

慶應義塾大学 法学部政治学科 昭和59年卒
馬場良浩

～ライバルの、本当の意味を教えてください早稲田大学～

去る6月9日、塾バドミントン部の70周年記念式典に参加いたしました。企業の寿命がますます短くなる、このアラウスイヤーの時代。70年の長きにわたる糧が、この奇跡的な出来事に、感無量です。その伝統の重みに輪をかけて、本年はなんと60回目の慶早戦！ ライバルという言葉の、本当の意味を味わっております。

関東学生リーグ戦での慶早戦、過去早稲田に勝利した最後の年が、1983年の春。1部リーグの順位も、慶應が5位で早稲田が6位。そう、我々が現役4年、現監督の五月女君が3年生で大活躍した年でした。その前に早稲田より上位で終えたリーグ戦は、なんと20年近く遡った、1964年秋のことでした。勝つか負けるかは、目的のひとつではあるが、結果に過ぎない。己の力の、可能性のすべてを出し尽くせるか？寝てもさめても、ひとつのことに、バドミントンに没頭できるか？そのことが、現役生には問われるのでしょうか。

ライバルの、本当の意味。「あいつがいたからこそ、今の俺が居る！俺が成長できたのも、早稲田という巨大なライバルが居てくれたからだ！...切磋琢磨できる友人、そこにライバルという言葉の、深い意味がある。実際私にとって、早稲田の皆様との切磋琢磨の思い出が、塾卒業後の30年間の悪戦苦闘を支えてくれました。

早稲田と慶應の現役諸君、生涯、良きライバルとして成長し続けてほしい！そして、卒業してからも、逢えなくなっても、ライバルはライバル。早稲田の諸君、慶應は現在4部だが、確かに力量は劣っているが、しかしながらその目は死んでない。びっくりするほどに輝いています。全力で、潰しにきてほしい！

末筆となりましたが、2012年第60回慶早戦、おめでとうございます。8月14日、日吉でアキレス腱を断裂した老兵より。(オリンピック後、バドミントンでアキレス腱をきるミドルが、急増中？です。諸先輩方、おからだご愛くださいませ。)

慶應義塾大学 環境情報学部 平成24年卒
植田 悠

第60回早慶バドミントン定期戦の開催、心よりお慶び申し上げます。

今年にはロンドン五輪が行われ、代表選手団による連日の素晴らしいトレーニングの教々に日本中が盛り上がり、感動と興奮に包まれた記憶に残る夏となりました。

私も様々な競技を観戦する中で多くの感銘を受け、改めてスポーツの素晴らしさに気付かされました。そしてバドミントン競技においても、日本人初のメダリスト誕生により大変注目を集めた記念すべき大会であったことは言うまでもありません。

さて、月日の流れの早さには驚くばかりですが、自身最後の早慶戦を終えてもう1年が経ちます。長年続いていたバドミントン漬けの生活から一転、社会人となって既に半年が過ぎ忙しい日々々に追われながらも、時折現役時代を懐かしく振り返っています。

その思い出のひとつである早慶戦の試合に、私は4年間で計4回出場させて頂きました。独特な雰囲気には包まれたコートの中で沢山の方々の応援を背に必死にシャトルを追いかけて続けたことを今も鮮明に覚えているのは、それだけ早慶戦が特別なものであったからだと思います。

毎年、勝ちたいという気持ちと共に、自分らしいプレーで内容的にも良い、試合が出来るよう心掛けたから早慶戦に臨んでいました。

現役時代は不器用ながらも技術等を強化すべく努力を続け、その過程で本当に沢山のことを学びました。

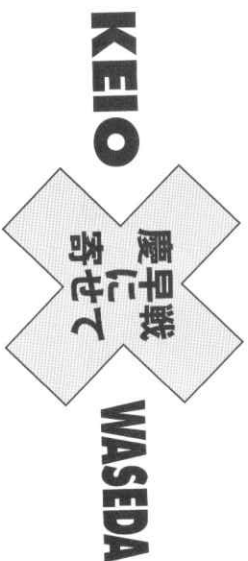
そんな努力の積み重ねによって、少しずつではありますが自身の成長を実感することも出来ました。時には思うようにいかず悔いの残る試合も多々ありましたが、伝統ある早慶戦で早稲田の方々と戦えたことは貴重な経験として私の中に刻まれています。

後輩の皆さん、今回の早慶戦に向けてこれまで培ってきた努力が結実することを願っています。

「どんな状況になっても最後まで決して諦めない」という強い意志を持って試合に臨む皆さんの姿が見られることを楽しみにしています。

そして阿校の4年生にとってはこれが大学生活最後の試合になるかと思えます。4年間の集大成として自分自身の力を思う存分発揮し、後輩達に良い形でバトンを渡せるよう頑張ってください。

最後になりましたが、本大会開催にあたり準備・運営にご尽力下さった部長、監督、コーチ、諸先輩方、諸関係者の皆様方に謝意を表すると共に、早慶阿校のますますのご発展をお祈り申し上げます。



生あん 製菓材料の御用は
各種 煉あん 品質本位の当店へ!!
ねり



株式会社
清水製あん所

清水製あん所

本社・工場 横浜市南区中村町3丁目203番地の14 電話 横浜 (045) 261-1523番
ねりあん専門工場 横浜市泉区飯田町1124-3 電話 横浜 (045) 802-1523番

早稲田大学 スポーツ科学部 平成24年卒 (前年度主将)

嘉村 健士

第60回早慶戦の開催、心よりお祝い申し上げます。また今年も、栄えある定期戦が続いていることは、早稲田の一員として誇りに思います。

思えば、去年の、自分の大学最後の引退試合となった主将戦は、今までも鮮明に頭に残っています。

ダブルスが専門である自分にとっては、やり慣れていないシングルスは、とても緊張しました。何より、あの会場を包んでいた熱気や相手の応援、そう簡単に勝たせてはくれないな、と感じました。それだけ、早慶戦はどこかいつもと違う試合だったと思います。今年も、そんな白熱した会場の様子が、想像できます。早稲田の後輩には、そんな空気にのまれないように、しっかりとしてプレーをして欲しいと願います。

試合は緊張に満ちたものでしたが、試合が終わった後の交流会は、いつも楽しいものでした。何より嬉しかったのは、早慶戦以外の試合でも、仲間として、応援してくれたことです。そうやって友情を築けたことは、一生の財産だと思います。

最後に、今年も開催に向けて尽力してくださった現役生・先生方・OBの皆様ありがとうございます。両者の健闘をお祈りいたします。そして、試合のあとは、ノーサイドでお互いに交流を深めてください。



新宿区馬場下町18番地 ☎32202-3550

慶應義塾大学 理工学部 平成24年卒 (前年度主将)
山口 哲生

第60回慶早バドミントン定期戦開催おめでとうございます。今年もまた伝統ある慶早戦が無事開催されることを大変嬉しく思います。今年の夏にはロンドンオリンピックが開催され、世界中が熱狂しました。思えば私は4年前の北京オリンピックの開催年に入学し、競泳平泳ぎの北島康介選手の金メダルの瞬間を部屋で見、皆で歓声を上げていたことを覚えています。そのときからもう四年経ったのかもしれないと思うと、ロンドンのテレビ中継を見つづき感慨深いものがありました。

このロンドンオリンピックではこれまで目立っていなかった競技での活躍が目につきました。卓球、テニス、フェンシング、バドミントン、そしてバドミントンでは、数十年ぶり、もしくは初めてのメダルを獲得し、日本中に感動を与えました。一方で、これまでも注目されてきて、日本のお家芸などと称されている柔道、レスリング、体操では、勝って当たり前といった重責を負っているにも関わらず、それをはね除けて見事メダルを獲得する活躍がありました。それぞれがそれぞれの立場で目標を立て、それに対して何年もの間並々ならぬ努力、練習を積み重ねてきた結果が現れたのだでしょう。毎日が感動と興奮の連続でした。

世界のトップアスリートと比べると規模は違えど、我々慶應と早稲田が慶早戦に向けることも似たようなものだと思います。現在では、どうにか早稲田との力の差を埋めるべく、苦しい練習を積み重ねてくるチーム慶應と、慶應と力の差が有るか否かのために、絶対に負けることが許されない重責を負ったチーム早稲田。それぞれのチームがそれぞれの立場で目標を立て、一年間考え、練習を積み重ねて、ついに対峙する慶早戦が毎年何らかのドラマを生み出し、見る者を感動させることに、卒業して半年の若輩者ながら期待せずにはいられないのです。

私自身のことを少し振り返ると、私は慶早戦に1年生から4年生まで単独出場することができました。しかし、一度として勝利することはできませんでした。4年生のときの主将戦では、早稲田前主将の嘉村くんに食らいつく「絶対勝つ!!」と気合いをいれて臨みましたが、大きな実力差を見せつけられて完敗したことを鮮明に覚えています。未だにこの主将戦のことをふと思い出すと、何であのときもって練習できなかったのだろう、早稲田を意地悪しきれなかったのだろう、と後悔が押し寄せるほどです。

ここ数年、慶應は早稲田にほとんど白星をあげることが出来ておらず、昨年も竹内前副将が一矢報いたにとどまっています。昨年の慶早戦で早稲田に手も足も出さず負けた者、慶早戦に出場すら出来なかった者、皆悔しさを背負っているはずですが。チーム慶應のノブンを受けた川口主将をはじめとする最上級生は、この皆の悔しさを糧に一年間考えて、考え抜いて、必死にチームを引っ張ってきてくれたことでしょう。先日、夏合宿で半年ぶりに彼らに会いましたが、一段と凛々しくなっており、服々と受け継がれている打倒早稲田の意志を今年のチームもしっかりと受け継いでくれていると感じました。チーム慶應70周年を迎えるこの記念すべき年に、彼らの集大成が輝き1人でも多くの部員の悔しさが歓喜に変わることを楽しみにしています。そして、3年生以下の部員は今日の出来事を1分1秒見逃さないでほしいです。今日感じたことを次の慶早戦まで絶対に忘れないでほしいです。一生で4回しかない慶早戦の内の1回は止まらうとしています。大きな意味のある1日にもならないとは思いません。

最後に、早稲田の現役諸君、ぜひとも全力で慶應の選手を相手してもらいたいです。そして慶應の現役諸君、全力の早稲田の選手から全てのラリーを奪い取ってほしいです。がんばれ、早稲田!がんばれ、がんばれ慶應!!!



祝 早慶バドミントン定期戦

いつもご利用ありがとうございます。

OB・OGの皆様にも同窓会・クラス会・各種パーティーのご予約承っております。

慶應義塾日吉フテカルテラウンジ

営業時間 AM 11:00～PM 8:00

定休日 日・祝日 (パーティー予約については応相談)

今年もこの名誉ある早慶戦に参加することができ、嬉しく思います。と同時に、この伝統ある一戦で負けるわけにはいかない、というプレッシャーも少し感じています。今年はこちらが60回目ということで、節目の試合に自分が主将として立ち会えることを喜ばしく思います。また、同じく我がバドミントン部も創部60周年です。まさに、早稲田大学バドミントン部の歴史は早慶戦とともにあったのだと、実感しています。例えば、自分が一年生の時から、年間を通じてある数多くの試合の中でも、早慶戦だけはどこか違う空気を感じていました。勝利への強い思いや熱意が会場を熱くさせる、そんな独特の雰囲気があるのではないのでしょうか。時に、勝利数としては大きく上回っていても、どこか勢いでは慶應の選手に押されている印象がありました。今年こそは、全てで相手を圧倒できるよう、元氣良く真っ向勝負でがんばります！

WASEDA VS KEIO

酒の蔵 だるま

総席数：310席
宴会最大人数：180人

激安宴会 **2000円台!!**

- 飲み放題アリ
- 食べ放題アリ

アクセス

JR高田馬場駅徒歩1分
地下鉄東西線高田馬場駅徒歩1分

営業時間

月～土曜日 16:30～23:30
日・祝日 16:00～23:30

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-26-7 名店ビル3F TEL 03-3200-3540

今年も慶早バドミントン定期戦を開催できることに大変喜びを感じております。歴史ある慶早戦が今年で60回という節目の年を迎えるにあたり、脈々と受け継がれる歴史の重みを感じ、慶早戦に挑むにあたって改めてこの身が引き締まる思いです。またそれと同時にこれまで定期戦に関わりバドンを繋いで下さった両校OB・OGの皆様方はじめ、関係者の方々に深くお礼申し上げます。あの慶早戦独特のなんとも言えない緊張感を、主将としてコートに立ち、味わい、早稲田の選手と戦えることを心から幸せに思います。

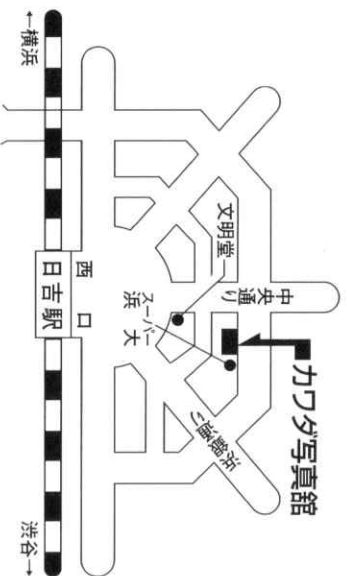
さて、我々慶應は、山口前主将の代に春リーグ戦中止によって無念にも達成できなかった「3部昇格」への熱い思いを受け継ぎ、これをリーグ戦の目標として掲げ、またチーム全員が「勝つために行動する」というチームビジョンのもとチームをスタートさせました。そして一年後の慶早戦という来るべき戦いに備え、早稲田との間に現時点では確かに存在する実力差をなんとか少しでも打開したい、縮めてやりたい、という思いから、早稲田の練習に実際に何度か参加させてもらい、慶早戦以外の場で実際に早稲田の選手とシャトルを打つ機会を作り、「動き」「ショット」を実際に体感し、脳裏に鮮明に焼き付け、より具体的に練習の場でイメージすることを繰り返してきました。

しかし、こうして迎える慶早戦までのチームとしての道のりは決して平坦なものでなかったことも確かです。目標を達成するためのやり方や選択する手段の部分で、部員同士で意識を共有できずチームとしてまとまりを欠いた時期もありました。ただ悩み抜く中で同期や先輩、後輩と本気で話し合い、監督、コーチ、OB・OGの方々のお力を借りながら積み重ねる日々は、学生主体でチームを運営する慶應バドミント部の誇るべき財産であると私は確信しております。これまで拙いながらも私をはじめ最上級生についてきてくれた後輩たちには感謝の気持ちを伝えたいと共に、4年生が今日残す一挙手一投足を見て思いを感じて欲しいと思います。

さあ、早稲田諸君、現役部員27人はじめ、慶應バドミントン部に関わるすべての方々の「打倒早稲田」という熱い気持ちを結集し、今ここに「チーム慶應」として全身全霊でぶつかっていくことを誓います。早稲田の選手に心から敬意を表すとともに主将抱負とさせていただきます。

KEIO VS WASEDA

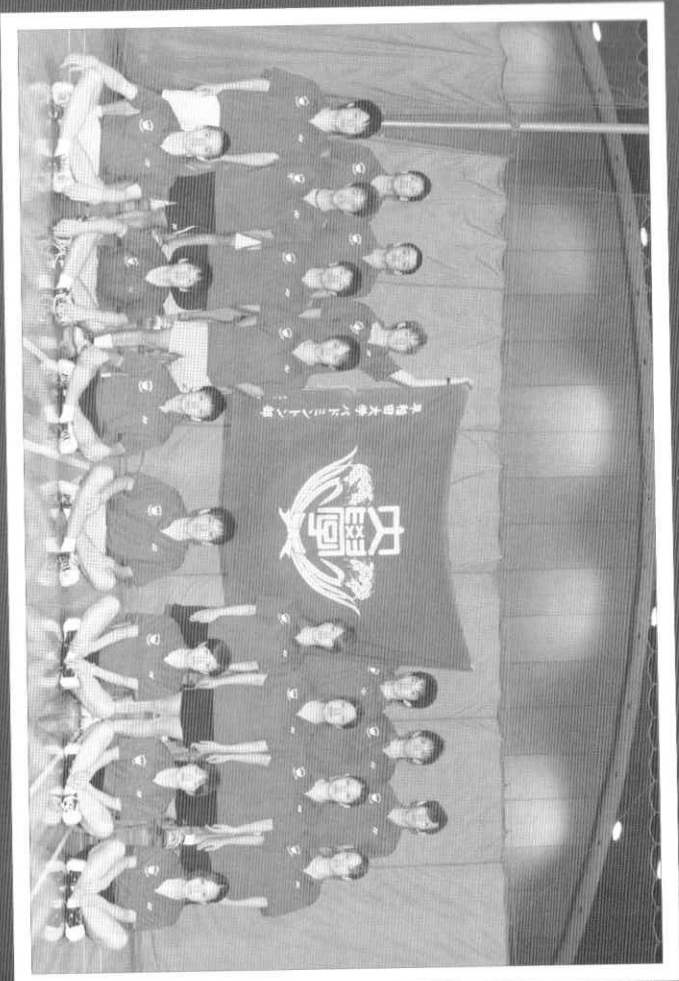
- 卒業記念写真
- 各種証明写真
- 出張記念写真
- 就職用写真



カワダ写真館

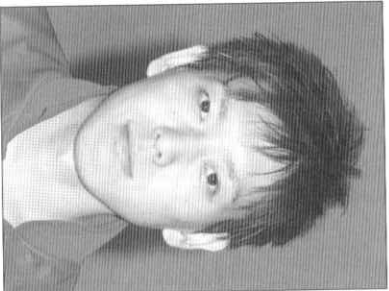
〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-2-7
 Tel 045 (562) 3668 (スタジオ)
 045 (562) 3667 (自宅)
 営業時間 午前10時～午後6時

WASEDA



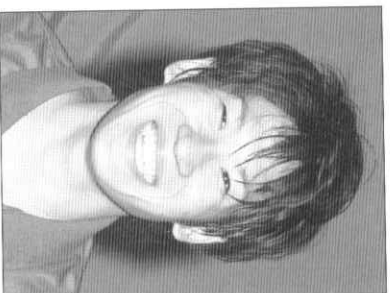
主将 村上 俊
スポ料 4
比叡山延暦寺 (滋賀)

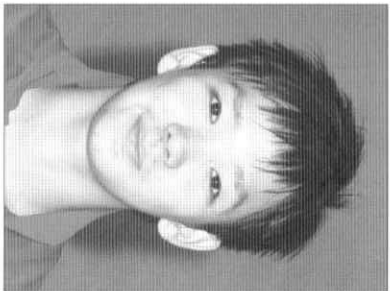
頼れるキャプテン。背は高いけれど、高いところは苦手なシャイボーイ。最近、プロテインを使い激しく肉体的改造中。



原田 和憲
社学 4
自由が丘 (福岡)

お酒が大好きな九州男児。一見チャラそうだが、勝負どころでは男を發揮する男の中の男。





岩崎 龍馬
社学 4
八代東 (熊本)

ペビーフエイスな彼は
体重が軽すぎて、その
そろ浮いてしまおうの
はと心配されている。
もちらろん、タンタカ
ンはロツク以外認め
ない。



玉木 絵里子
スボ科 4
聖ウルスラ英智(宮城)

クールビューティータ
マキ。最近はシヨート
ヘアがお気に入りに。
お客の来ない居酒屋で、
今日もあなたを待つ
ます!!!



土谷 美帆
スボ科 4
金沢向陽 (石川)

石川の星、男に厳しく
女に優しくがモット
ー。だけど、たまには
甘えちゃうぞ。パイ上
田真帆。



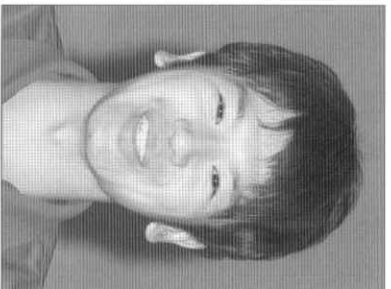
丸尾 亮太郎
スボ科 3
伊勢崎清明 (群馬)

特技も恋人もバドミン
トン。クロススマツシ
ュは相手の心と女のハ
ートを奪ってく。最
近、すべることに快感
になっていくという
噂。



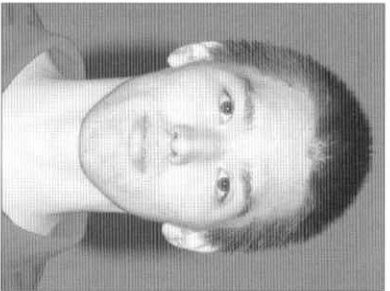
嘉村 昌俊
スボ科 3
八代東 (熊本)

早稲田のモノマネキン
グ。普段はふざけてし
かないが、やる時は
やる男。男と女、どち
らが好きなのかは誰も
分からない、、、



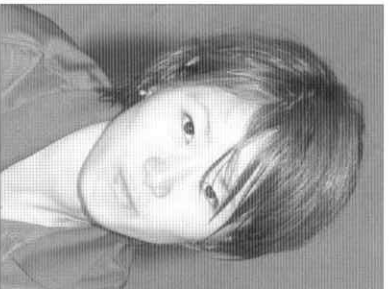
土井 悠也
基幹理工 3
広島城北 (広島)

内股戦士バイユウヤ。
飲みの後のラームンは
譲れない。スタ井早稲
田店でつぶらな瞳に濃
厚な唇の彼を見つけた
あなたはラツキーだ。



田中 開
基幹理工 3
早稲田学院 (東京)

バイツからバドミン
トンを教えに来たカイ
メツツエラ。ゲルマン
の精神を脇に宿し、今
日もハードにスマツシ
ュをコートサイドに勝
ち込む。



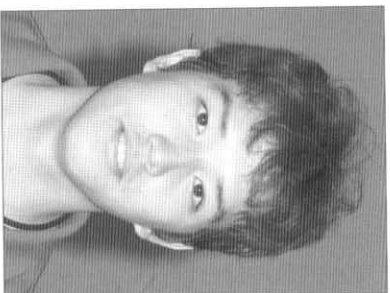
亀田 楓
社学 3
聖ウルスラ英智(宮城)

ネット前での異常な
テクニツクを持つごん
べえの看板娘といっ
たら彼女のトイレは
欠かせない。お酒が
入った彼女は誰にも
止められない。



関川 容子
社会学3
新潟青陵 (新潟)

早いクリアと柔らかいドロップを使いこなし、新潟の頂点に君臨する。最近その美しさにさらに磨きがかかっているようだ。何かあったのだからうか？



和田 治久
スポーツ科2
埼玉栄 (埼玉)

早稲田が誇るデザイナーインパクト。毛並みはつやつやクルクル。mixiのログインは5分以内一回。「わーしえーだだあーいがかくー」



堀ノ内 俊佑
法2
早稲田本庄 (埼玉)

バドミントン部なのに得意なスポーツはバスケットとスノボ。ナンパした女の数は数知れず。裸がユニフォームのキレツくん。



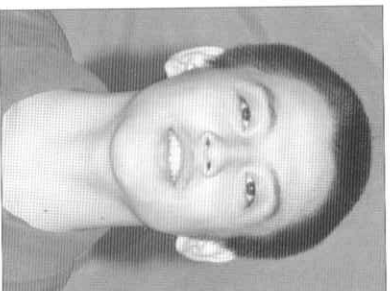
上田 真帆
スポーツ科2
埼玉栄 (埼玉)

皆さんご存知、上田です。ヘアピンは巻き込みます。鏡よ鏡、世界で一番可愛いのはわたし？？そう？ありがとー



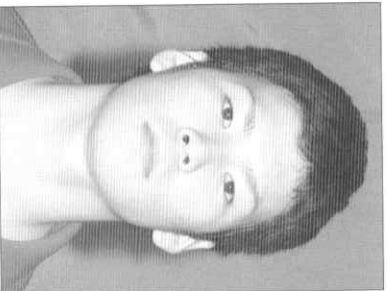
渡辺 梨沙
スポーツ科2
札幌静修 (北海道)

小樽の爆弾娘。男運の悪さはピカイチ。自分磨きに日々全力を注ぐ。頭の中は北海道のことばばば。「早く北海道帰ってー!!!」



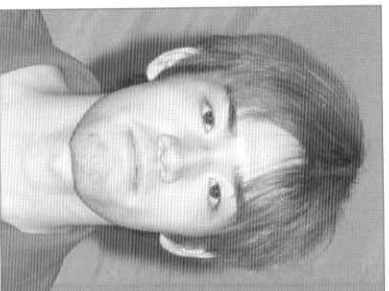
古賀 輝
スポーツ科1
埼玉栄 (埼玉)

世界を代表するテクニシャン。得意技はコガコプター！負けず嫌いなやんちゃ坊主、ふざけたしたら止まらさない。



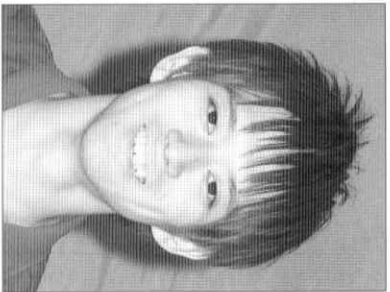
斉藤 太一
スポーツ科1
富岡 (群馬)

体脂肪率16%の恐竜。本人は全て筋肉だと言いたい張るが、定かでは無い。動けるデブを目標に今日も筋トレに励む。



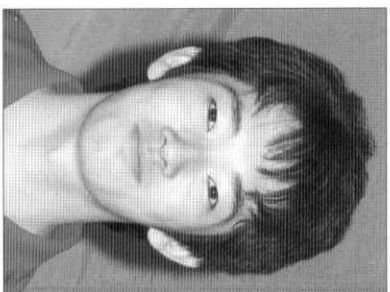
本多 朝陽
教育1
早稲田学院 (東京)

ほんただぜつ、スパッツは長めが好きだぜつ、スパイク履きこなすぜつ。田中先輩、そろそろ勝たせてもらおうぜつっ!!!



持田 恵佑
先進理工1
早稲田学院 (東京)

おおおーう!!!おう
っ!!おおおー!!!
ーう!!!



太田 宗孝
基幹理工1
早稲田学院 (東京)

体脂肪率5%の太田デ
ロ。ラケットは振り回
す派。最近急成長して
いると噂の、期待のエ
ース。免許はまだな
い。



清水 恵
スボ科1
聖ウルスラ英智(宮城)

がっつきランキンゲ1
位のしみっちゃん。ア
ルティメットにかける
情熱は全国トップ。そ
の可愛さゆえにフアン
クラブが存在するとい
う噂。

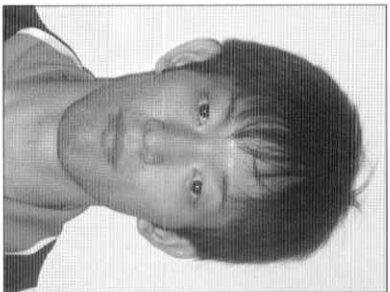
KEIJO



主将 太希
川口 文4
南山 (愛知)
幾度となく襲いかかる
怪我を乗り越えてきた
彼にも怖いものなど
何もない！その熱さで、
姿勢とイケメンさで、
ラストも華麗に締めく
くる！



副将 雄貴
小澤 文4
桐光学園 (神奈川県)
今年もやはり日焼けす
ることなく美白をキ
ープした小澤さん。その
白い肌、そして4年間
の鍛錬の成果を武器に
白星をあげるべく奮闘
する！



岩橋 俊明
商4
帯広柏葉 (北海道)

コートを縦横無尽に駆け回り、シャトルを拾い続ける驚異の粘りは今年も健在。その粘りを武器に、今年こそはリベンジを果たしてくれるだろう。



主務 基嗣
三浦 基嗣
理工4
修道 (広島)

帰ってきた眠れる獅子。眼鏡に見せかけたスカウターを駆使し、データバドミントンで早稲田に挑む。出るか、必殺のニヤニヤスマッシュ!!



主務 李佐子
有高 李佐子
経済4
慶應義塾湘南藤沢(神奈川)
しつかり者でチームのために日々奮闘するリーコさん。シレッとした顔で実は物事を素早く分析している。冷静沈着な試合運びで早稲田に挑む。



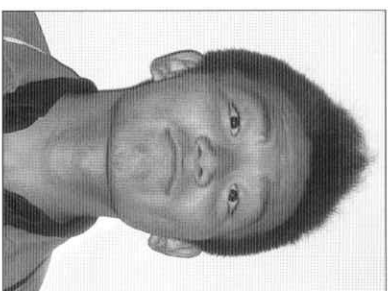
高崎 友里香
経済4
慶應義塾女子(東京)

ついに一年間の留学から帰ってきたちびっこ番長ゆりかさん。心も体も態度も(?)グレートも更にビッググになっただであるう彼女の集大成に期待大!



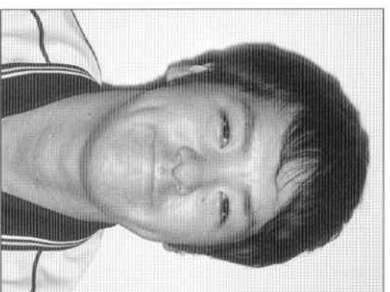
女子代表
岸本 裕紀子
商4
普連土学園 (東京)

女子の大黒柱ゆっこさん。ニコニコ穏やかな笑顔が素敵だが、そんな見た目からは想像のつかない強烈スマッシュを炸裂させる。

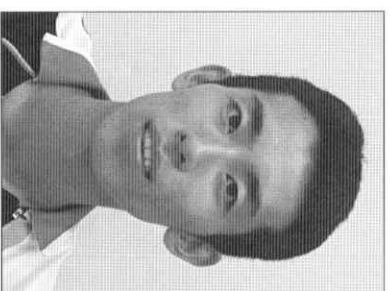


阪本 暁洋
文3
西武文理 (埼玉)

バド部とは思えない強靱な肉体から放たれるスマッシュはリン・ダンを顔負け。時折見えるアツキーナスマイルは南アツキーナも顔負け。そんな男である。



副務 桂祐
平林 桂祐
文3
松本深志 (長野)
バドミントン、頼もしさ、トーク力、と全てにおいて成長し続ける彼。成長が止まらない彼は、もはや自分の苗字の「平」をも気に食わないらしい。



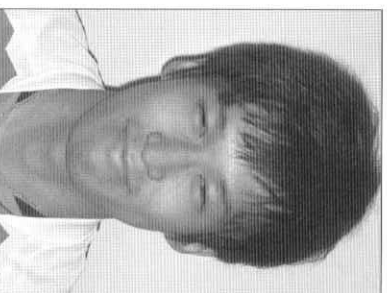
榎本 諭
経済3
サレジオ学院(神奈川)

細めの体を改造し、生まれ変わるために筋肉留学...ではないがスウエーデンに旅立った彼。一年後きつと心身ともに屈強になって帰ってきてくれるはずだ。



前川 潤
経済3
時習館 (愛知)

和やかな雰囲気を感じ、いつも周囲をほんわかとさせる愛され潤子。しかし、ポーカーフェイスとは裏腹に地道な研究と熱いプレーで皆を驚かせる。



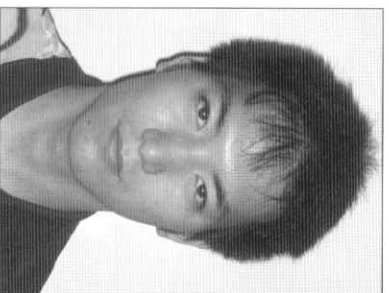
八木 勤輔
経済3
土佐 (高知)

ビーチで焼けた肌と逞しいその肉体、もう彼をカルロスと呼ばずに何と呼ぼうか。早稲田よ!!この夏彼が手に入れたジヤンピング直角スマッシュを受けるがいい!!



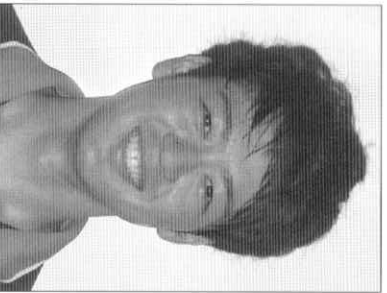
大山 研一郎
商3
倉敷青陵 (岡山)

留学を終えて帰国してきた彼は、顔つきも目つきもすっかりグローバルになって帰ってきた。パドミントンの技術も世界レベルにまで達することだろう。



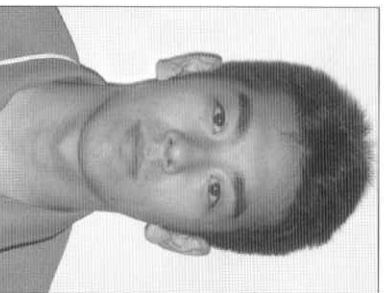
梶原 彰宏
商3
栄光学園 (神奈川)

例年貫禄があると評される彼だが、最近はずみで鍛えられ、内面も充実してきた。そして、後輩思いで、「一品だけな」というにこやかな笑顔は相変わらず。



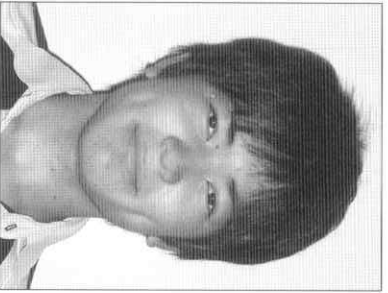
副務 桐生 聡之
理工3
慶應義塾志木 (埼玉)

こちらも仕事も淡々とこなすうちに、機械のノウハウに正確なフットワークを手に入れたきり、ほとんど無表情だが、コート外ではいい笑顔で対応。



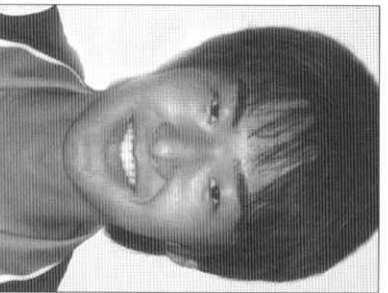
坪井 知也
理工3
西湖 (神奈川)

我が部の財布を握る会計坪井。この一年でまた一段と頼もしくなった。パートナーもボキッとする程のパッチリ二重で打倒早稲田を虎視眈々と狙う。



前表 和宏
法法2
慶應義塾志木 (埼玉)

後輩ができた途端、急激にダブルスが上達した。ベイビーカーズ。しかし、すぎ焼き井をあんこ井と間違えられる料理の腕と、10%しか理解不能の滑舌は上達の気配なし...



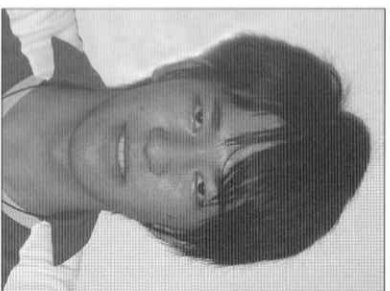
高田 大地
法政2
土佐 (高知)

名前に高と大を兼ね備える彼はとにかく高い。そこの体育館では天井に頭が届きかねないほどだ。その長身から繰り出されるショットは隕石にも匹敵する。



寺内 俊樹
法政²
宇都宮 (栃木)

動かないようにみえて動き回る。興味ないように見えて内心興味津々。つかみどころのない彼だが、冷やしトマトと綺麗な女性には目がない。



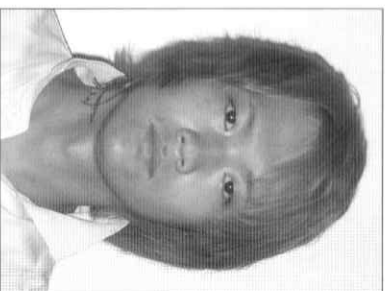
程島 朋海
商²
平塚江南 (神奈川県)

とにかく喋る、たまたみかける、そして笑わせる。彼にとって口は笑いでではなくエネルギーの源のようだ。そのエネルギーで相手コートにスマッシュを叩き込む！



池田 岳弘
理工²
熊谷西 (埼玉)

我が部のマスコットキャラクターことキンクハポンビー池ちゃん。その天然ぶりは学連でも一目置かれるほど。文字通りコートの中を走り回っちゃいます！



京河 凌平
環境²
松山東 (愛媛)

この一年で見かけ程はチャラくないことを証明した京河。ロンポンオリンピックに刺激され、瞬間移動フットワークを習得したらしいけど、やっぱりチャライ...



副務
関 裕沙
経済²
慶應義塾女子 (東京)

THEデキ女子！今年も更にスピードアップして仕事をこなしている。ただ、携帯の充電が無くなるスピードも日々加速傾向にあることだけが心配だ。



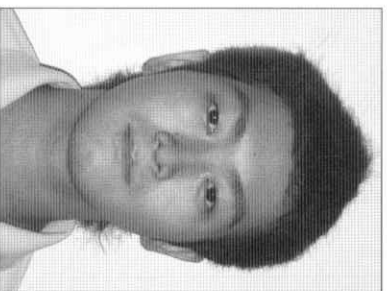
安藤 美晴
商²
新宿 (東京)

みんなのアイドル安ちゃん！好きなものは甘いもの。そんな彼女、バイト先をケーキ屋から惣菜屋に変えました。本気を見せ始めた彼女にご注目！



紙谷 優明
経済¹
栄光学園 (神奈川県)

我が部唯一のサウナスポ一まちな空振りを見せてくれるものの、胸の内には秘めた凄まじい闘志は先輩をも脅かす程である。



西村 武浩
経済¹
本郷 (東京)

元ヤン風の風貌と柔道黒帯を持つフイジカルの強さで常に部員を威圧している西村。そんな彼が放つふわりとしたカットにノータッチ続出は間違いないだろう。



高瀬 秀穂
文¹
西武台千葉 (千葉)

コートの外ではふんわり可愛い美少女ヒーちゃん。しかしコートに入った途端に鋭い目つきへと変わり、鋭いシヨットで相手を翻弄する。



監督 五月女 季孝
Toshitaka Saotome
昭和60年理工学部卒
桐朋学園(東京)出身
野村アセットマネジメント

慶應バドミントン部を敬愛し、緻密な分析と無限大の情熱を基軸に日々現役部員へ鋭い視線と叱咤激励という名の愛のムチを注いでくださる「慶應の総指揮官」



女子監督 加藤 幸司
Koji Kato
昭和57年法学部卒
慶應義塾志木(埼玉)出身
慶應義塾大学体育研究所

バドミントンをこよなく愛し、科学的視点・心理的見地などから選手の深層心理にアプローチする加藤先生。50歳を越えても素晴らしい肉体系を誇る「慶應の風雲児」



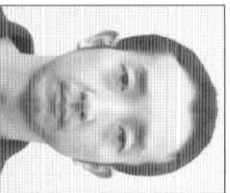
ヘッド・コーチ 加藤 正裕
Masahiro Kato
平成2年経済学部卒
慶應義塾志木(埼玉)出身
三菱UFJ信託銀行

「そもそも何故この練習をしているのだと思う？」と部員一人ひとりに問いかけ、自ら考え、気づくことを通じて解決の糸口を引き出してくくださる「慶應の名参謀」



女子コーチ 和栗 恵
Megumi Wajuri
平成21年法学部卒
慶應義塾女子(東京)出身
江東区医師会

プレイ面でも現役時代から全く力の衰えを感じさせない和栗先輩。現役にも自分にも厳しく、コートに立つ凜としたその容姿はまさに「慶應のバブルレディー」



男子コーチ 三壁 敏隆
Toshitaka Mikabe
平成14年法学部卒
桐蔭学園(神奈川)出身
日機装

トレーニングの日にも練習に参加し、現役を凌ぐ脚力で共に汗を流してくくださる三壁先輩。どんなシャトルも返し続けるその姿はまさに「慶應の模範的プレイヤー」



男子コーチ 石岡 洋平
Yohei Ishioka
平成22年経済学部卒
慶應義塾(神奈川)出身
みずほ銀行

普段の何気ない会話からも部員の状態を的確に把握し、優しく微笑みながらサテイスティックな言葉で鋭い指摘をしてくださる石岡先輩は「慶應のご意見番」



男子コーチ 竹内 裕詞
Hiroshi Takeuchi
平成23年総合政策学部卒
旭丘(愛知)出身
日本電産

ヘルニアを発症しながら現代医学を超越する情熱と信念で完治させ、昨年の慶早戦では鮮やかな勝利を挙げた。常に逆境をカへと変える「慶應のフェニックス」



マネジментアドバイザー 石川 陽菜
Haruna Ishikawa
平成23年法学部卒
慶應義塾女子(東京)出身
中央大学法科大学院在学中

現役時代は名マネージャーとして「S監督を顎で使った」という噂が流れるほど、すべてを完璧にこなしてきた石川先輩。天は二物を与えた「慶應のマルチアレント」



スペシャルコーチ 竹鼻 拓也
Takuya Takehana
法政大学卒
金沢二水(石川)出身
NTTドコモ

どんなに華麗なショットを決める選手でも基礎打ちをしつかりとできなければ大成しない。自らが手本となり背中を実践してくくださる竹鼻さんは「慶應の昇格部員A」

(※) 各コーチの紹介欄に掲載された名言(?)とコメントは、各コーチの人物や生き様に対して抱いている印象を基に五月女監督が書き綴ったもので、コーチ本人の言葉ではないことをおことわりしておきます。